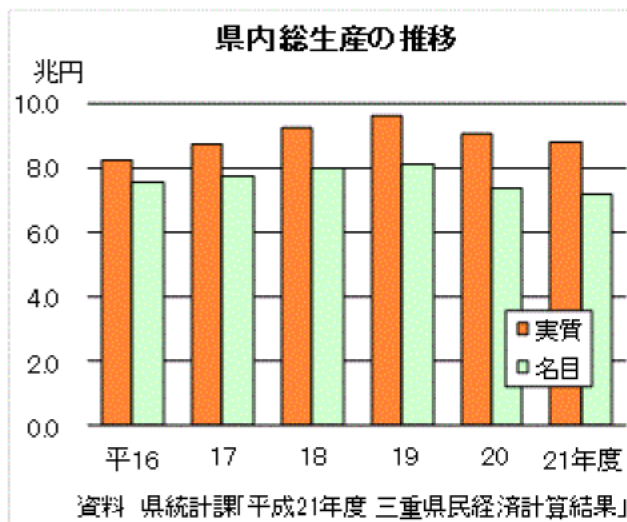


第1 三重県のプロフィール

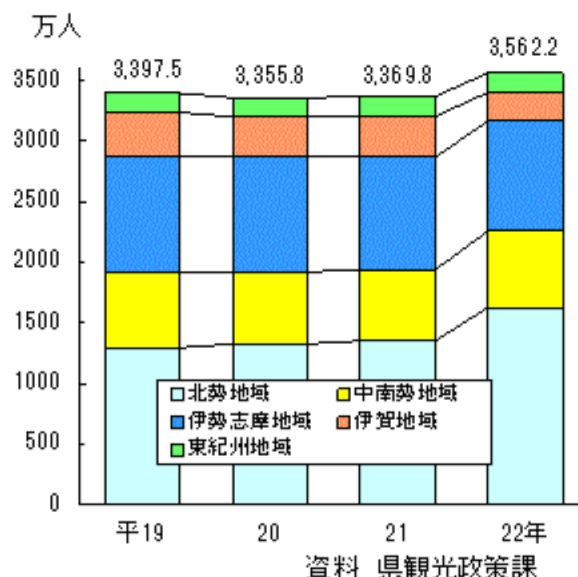
1 位置と地勢

三重県は、日本列島のほぼ中央に位置し、東西約 80 km、南北約 170 kmの南北に細長い県土を持っています。

また、北部は商工業が盛んな地域である一方、南部は伊勢志摩国立公園や世界遺産熊野古道などの地域資源を有し、都市的機能と豊かな自然とのバランスがとれた地域となっています。

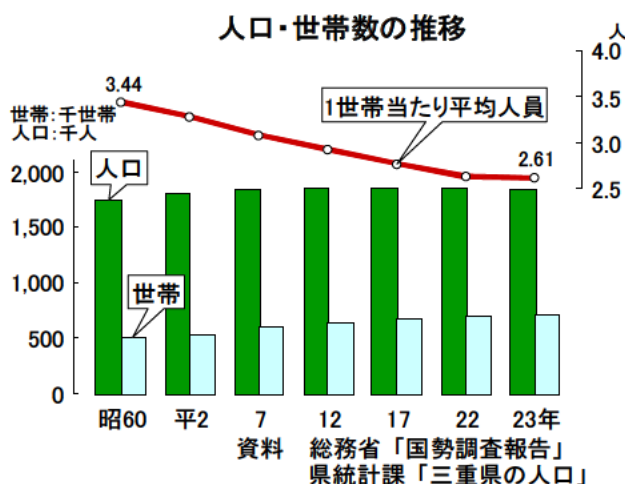


地域別観光入込客数の推移(新基準)



2 人口と面積

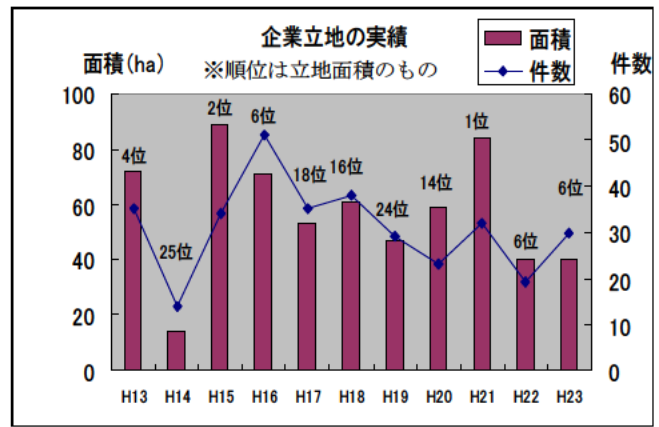
平成 22 年 10 月 1 日現在の総人口（国勢調査結果）は、約 185 万人で、都道府県別の全国順位は 22 番目の多さになっています。また、平成 23 年 10 月 1 日の総面積は 5,777.31 で、全国順位は 25 番目の広さになっています。



3 交通アクセス

三重県は、中部圏と近畿圏の両方に属していることもあり、鉄道のほか、東名阪自動車道や第二名神高速道路などの高速道路、幹線国道が充実し、二大都市圏へのアクセスが大変便利になっています。

また、四日市港、中部国際空港など海外からのアクセスも充実しています。



例えば、津市から大阪市までは、自動車約2時間、鉄道約1時間30分、名古屋市までは、自動車約1時間、鉄道約50分となっています。

このようなアクセスの良さもあって、平成7年から平成22年までの間に、三重県内において取得された企業の工場用地（千㎡以上）の面積は、9,311千㎡となり、全国に占める割合は約3.6%（全国10位）となっています。

4 産業

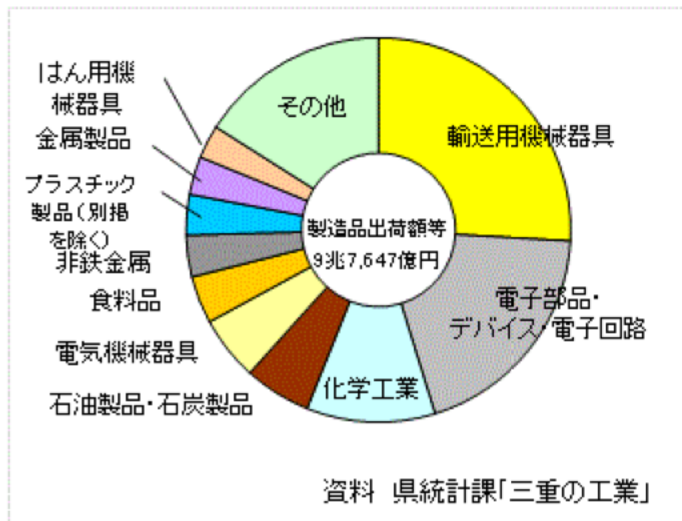
三重県は、国内でも有数の石油化学コンビナートを有するとともに、半導体、液晶、自動車などの先端産業が発達しています。

こうした状況は統計面でも現れています。平成22年工業統計調査によると、平成22年12月31日現在の製造品出荷額等は9兆7,647億円で、全国9位の規模となっています。

また、農林水産業では、なばな、モロヘイヤ、茶などの生産量が全国的にも上位にあり、伊勢エビやカツオなどの漁獲量も多く、自然に恵まれた本県ならではの特性となっています。

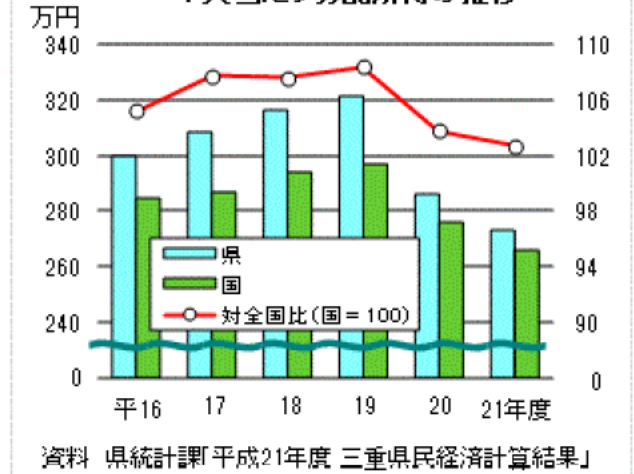
なお、1人当たりの県民所得は、平成20年秋以降の米国発の世界的な経済危機の影響から、企業収益が大きく悪化したことに伴い、平成20年度から減少に転じ、平成21年度は前年度より4.6%減少して273万1千円となり、全国11位となっています。

製造品出荷額等（平成22年）



【全国9位】

1人当たり分配所得の推移



【全国11位】